

シンガポールでの県産品販路開拓の取り組みとコロナの状況

地ビールプロモーション at ジャパン・レール・カフェについて

8月19日から9月30日までの間、JR東日本がシンガポールで運営するジャパン・レール・カフェにおいて、日本の夏季に合わせて日本産地ビールの魅力発信・販路拡大を目的とした期間限定イベント「地ビール・タイム」を開催しており、石川県からは、金澤ブルワリーとわくわく手作りファーム川北の2社5商品が販売されています。また、同時期にJR東日本グループが運営する旬のもの・地のもの・縁のものを紹介・販売する「のもの」や ISETAN 内に設けられた特設ブースでも地ビールを紹介・販売しております。

小職も PR のため開始初日の19日に店舗を訪れましたが、来店されたローカルの方からは「一年以上コロナ規制により日本に行けない状況が続いているが、日本でしか飲めなかった地ビールがシンガポールで飲めて嬉しい」「ジンジャータイプはすっきりとした味わいで、ボトルやラベルが可愛くインスタ映えする」など高評価をいただいております。

今回、JR東日本の担当者と当イベントの開催にあたり調整してきました。一時コロナ規制の強化により開催時期の見通しが立たなくなった時もありましたが、無事開催することができ、多くの方に石川県の地ビールを飲んでいただけてホッとしております。

また、実店舗販売に加え、20日には各メーカーとシンガポールをつないだ Facebook Live が開催され、シンガポリアンに各ビールの特徴などを直接 PR しました。こうした取り組みやオンラインショップ、10月オープンするアンテナショップでの販売を通じて、このたびシンガポールに初上陸した地ビール等の石川県産品の更なる販路拡大に取り組んでまいりたいと考えております。



JRcafe での販売の様子

コロナの規制緩和とワクチン

シンガポール政府は、感染力の強いインド由来の変異株「デルタ株」の拡大に伴い、新型コロナウイルスのクラスター発生件数を減らすことは難しいものの、感染者の増加は抑制できているため、ワクチン接種者から優先的に規制を緩和する方針であること、また新型コロナウイルスの感染対策として実施している経済・社会活動の制限を4段階に分けて緩和すると発表しました。

第一弾として、8月10日から「準備期」とし、ワクチンの接種完了から2週間以上経過した人のほか、24時間以内に受けたイベント前検査の陰性結果を持つ人と、過去270日以内に新型コロナ感染から回復した人については、最大5人での店内飲食が認められました。

準備期の開始から約1カ月後の9月上旬には、「移行期A」と称する段階に移る計画で、各種人数制限や入国規制を一段と緩めることとしているとのことです。（ワクチン接種完了者には入国時ホテルなどで14日間待機する措置（SHN）の免除などを想定）

また、時期は明確ではありませんが、次のステージである「移行期B」では、さらに制限を緩和し、新型コロナと共生するニューノーマル体制への移行を完了する予定です。

一方で、シンガポール政府は「9月上旬に予定している移行期Aに入れば、社会・経済活動や入国の制限をさらに緩和することになるため、感染者や死者が増える恐れがあり、ワクチンの接種率を高め、重症リスクを減らすことがより重要になる」とコメントしております。その根拠として、シンガポール国立大学やシンガポール国立感染症センターによると、ワクチン接種完了者は、新型コロナに感染しても入院や死亡などの深刻な結果に至るリスクは低い。接種完了者が多ければ集団免疫ができるため、新規感染者が出てても他の人に感染しにくくなるということです。

こうした一連の規制緩和の背景として、企業の従業員が出張しやすい環境を早めに整えないと、シンガポールに地域統括拠点を置く多国籍企業が投資をしなくなるとの危機感を政府が抱いており、これは国民の雇用や収入にも直接的に影響してくるため、段階的にでも規制を緩和していくことが重要と考えているということです。

一方で、タイの首都バンコクで実施しているロックダウンが8月31日まで延長されたほか、ベトナムホーチミンでもロックダウンが9月15日まで延長されており、人々の生活に大きな制限がかかっております。安心な生活の確保はもちろんのこと、経済活動の活発化に向けて1日でも早く世界的なコロナの収束を待ち望んでいます。

UPDATED SAFE MANAGEMENT MEASURES FROM 19 AUGUST



	Social Gatherings	Public places: 5 per group Unique household visitors: 5 per day* Limit of 2 social gatherings per day
	F&B Establishments	All vaccinated*: 5 per group, provision for children applies^ Unvaccinated: No dining-in without PET
	Hawker Centres, Coffee Shops	2 per group, regardless of vaccination status
	Indoor Mask-off	All vaccinated*: 5 per group
	Indoor Mask-on, Outdoor Mask-on and Mask-off	5 per group, regardless of vaccination status
	Marriage Solemnisations	All vaccinated*: 1000 attendees Unvaccinated: 50 attendees without PET Provision for children applies^
	Wedding Receptions	All vaccinated*: 250 attendees, 5 per group, 1 reception only Provision for children applies^
	Workplaces	50% allowed to return to workplace
	Congregational & Worship Services, Live Performances, Spectator & Sports Events	All vaccinated*: 1000 attendees Unvaccinated: 50 attendees without PET Provision for children applies^
	Funerals	30 attendees at any point in time
	At Public Premises	Not required

8/19以降の規制の状況（シンガポール保健省）

シンガポール事務所の新アシスタントについて

前アシスタントの「サキ（Sakthibalan Balathandautham T A M）」が退職したことは以前紙面でご報告しましたが、今回は新しく仲間になったアシスタントをご紹介します。8月からシンガポール事務所にジョインした「エリック（Goh Kai Shun, Eric）」です。日本語のレベルも高く、石川県について日々勉強しているところで

す。前任のサキとはキャラが異なりますが、また小職と二人三脚で、石川県産品の販路拡大等に取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも石川県シンガポール事務所をよろしくお願いいたします。

